

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカサンギョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ、スポーツキャリア演習
	学部・研究科等名	工学部、経営学部、スポーツ健康学部
	担当教職員名・役職	榎真一(教授)、田代勉(教授)、波床正敏(教授)、吉年慶一(講師)、部谷学(教授)、佐藤真治(教授)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	215
	受入企業等数	132
	受入企業等名	大東市役所、公益社団法人大阪自然環境保全協会、株式会社ベル、株式会社ホテルラフォーレ琵琶湖、株式会社松源、岸和田商工会議所、ネットヨタ大阪株式会社、サントリービバレッジサービス株式会社、東大阪市役所、有限会社エノキエ、株式会社光明製作所、株式会社貿易広告社、高島鉦建株式会社、コカ・コーラウエスト株式会社、ダイナミックスポーツ、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、大阪YMCA等
	インターンシップの分類	6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
要素②	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	営業同行・技術(設計製造)・事務等
	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生が在学中に民間企業や教育現場において将来のキャリアに関連した就業体験(インターンシップ)を行うことにより、希望する職業に就くための学習意欲を向上させること、社会の要請に応える資質を備えさせることを目的とする。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習を計3回開催している。業界研究のポイントや自己分析の方法、履歴書の基本的な書き方の学習を行う。電話対応や名刺交換の仕方といったビジネスマナーの習得を行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生の成果発表、受け入れ企業よりインターンシップの取り組みについての講演会を頂く等を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ中に、キャリアセンター職員が受け入れ企業に挨拶の為訪問し、学生のインターンシップに取り組む様子などの状況把握を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生にインターンシップのアンケートや実習報告書の提出をさせ、それらの内容を確認し、次年度のインターンシップの改善につなげている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している,2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	事前・事後実習を実施し、実施期間5～10日間程度のインターンシップを行っている。
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	

	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄) 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ企業へ実施期間5日間以上のインターンシップの実施を依頼し、インターンシッププログラムを作成頂いている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ企業へ学生一人一人に対して、修了証明書の作成を依頼し、学生に対する評価を頂いている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://wr19.osaka-sandai.ac.jp/cnt/Redirect/syllabus.html
問い合わせ先	大学等名	大阪産業大学
	担当部署名	庶務課
	担当者役職名	課長
	担当者氏名	北村友
	電話番号	072-875-3001
	メールアドレス	kitatomo@cnt.osaka-sandai.ac.jp